

# 栗田の獅子舞



栗田の獅子舞は、10月中旬の豊田日吉神社の秋祭りに合わせて巡行されます。獅子頭は、桐材を白皮で包んでおり、江戸時代末期の製作と伝わります。

獅子舞の演舞は、獅子殺しを主体とし、演舞の最後に「ヨイヤ」と叫んで獅子を討ちます。演舞中は囃子方による三味線、太鼓、笛の演奏が行われます。

栗田の獅子舞は棒振りの演目の多さが特徴的で、棒、薙刀、太刀、尺八、本太刀、対筒、鎖鎌、霞（警棒）のほか、武器を用いない「無手」という演目もあります。栗田の住民は、半兵衛流の門下で水野一伝流を学んだ中林の西村清太郎の影響が強く、清太郎の多彩な武術が今に伝わっています。



獅子頭



とよだひよしじんじゃ  
豊田日吉神社

保持団体 栗田連合町会  
市指定無形民俗文化財  
指定年月日 令和5年7月1日